

1. ミッション

本協会は、適合性評価制度が我が国の安全・安心、健康、環境保全、公正な経済活動を支える社会基盤としての重要な構成要素であることを認識し、国際的に整合した適合性評価制度の信頼性を維持、向上させる活動の中核としての役割を全うする。

2. 中期ビジョン

第三者適合性評価制度の信頼性向上と普及を推進し、世界をリードする認定機関となる。

上記を達成するために

- (1) 国内認定機関との協働強化及び制度上の課題対応のために適合性評価機関との連携強化を図る。
- (2) 本制度運用に関する情報公開を推進し、本制度の利用者との対話を促進する。
- (3) ILAC及びIAFの国際相互承認メンバーである認定機関として、国際的な認定機関とのネットワークを積極的に活用する。
- (4) 安定した経営基盤を維持継続するために、業務効率改善並びにリスク管理の徹底を推進する。

3. 課題

(1) 制度の信頼性強化

日本におけるマネジメントシステム適合性評価制度は順調に普及し、その活用は着実に広がってきた。この普及に伴い、制度運営とその結果に対する社会的責任も増大している。昨年、適合性評価機関と協働でマネジメントシステム認証の信頼性向上に向けたアクションプランを策定したが、今年度以降はこのアクションプランに沿った活動を推進しなければならない。とりわけ審査に関する情報の公開と制度に対する社会の理解を促進させることについては、より具体的な活動を展開していく必要がある。

(2) 制度の一層の普及

試験所認定、製品認証機関認定、要員認証機関認定並びに検査機関認定等の分野においては、諸外国に比べ国内での制度の普及は充分とはいえない。認定の意義と制度に関する適切な情報の提供及び理解を得るための計画的かつ系統的な活動が一層重要である。

また、新たな分野での認定プログラムの開始にあたっては、これまでと同様に、認定が社会に提供するサービスの価値を見定め、認定結果の利用者を含む関係先との協働の下に展開していく必要がある。

(3) 安定した財政基盤の確立

認定・認証に係る費用低減ニーズに応えつつ、本協会のミッションに沿った活動を展開し、その時々発生する諸問題に適切に対応していくために、経営資源の効果的かつ効率的な活用体制を確立する必要がある。

4. 2011 年度経営方針及び目標

方針：本協会と社会との連携を強化し、第三者適合性評価制度の利用を拡大する。

目標 1： JAB のブランド力の強化

- ・ JAB 認定の価値および各認定プログラムの広報
- ・ 情報公開と説明責任の徹底
- ・ 国際的プレゼンスの強化・拡大

目標 2： 認定審査要員力量の一層向上

- ・ 認定審査における有効性審査の徹底

目標 3： 事務局業務の効率化による財務体制の再構築

- ・ 次世代業務支援システムの検討
- ・ 認定審査業務の合理化

目標 4： 試験所等認定数の増加

- ・ 新規認定プログラムの開発
- ・ 新規試験所認定に向けてのアプローチ

5. 東日本大震災関連業務

今般の東日本大震災による ISO 認定・認証制度及び認定・認証取得組織への影響を勘案し、2011 年度の年度目標に加えて、次の事項も本年の特別目標として追加し関連業務の推進を図る。

1. 本協会から認定された試験所の災害特別認定保留措置の実施、並びにその措置に伴う認定審査運用においても国際整合の維持を保つための実行計画の検討
2. 主として輸出製品の放射線量測定の信頼性確保のために、試験所認定、検査機関認定、製品認証機関認定に関する ILAC 及び IAF の相互承認活用の検討
3. 被災認証組織の再認証取得に向けた支援
4. エネルギーマネジメントシステム認証の早期活用による節電推進の検討
5. その他
今後の実態調査を踏まえ必要な施策を追加実施。